

2月17日 全校朝会「展覧会が始まります」

今週の木曜日、2月20日に、展覧会が始まります。ずいぶん前から図工の時間に作品を作ってきましたが、いよいよ、みんなの作品が会場に展示される時が来ました。

先週、5年生が、会場づくりをしてくれました。どうもありがとう。6年生は、展覧会に向けて実行委員会を作って盛り上げてくれました。オープニングセレモニーもあります。楽しみですね。

さて、ここで、展覧会でどんな作品が展示されるのか、一部を紹介していきます。

1年生「つくって へんしん」

変身したいものなあに？ 自分だけの帽子を作って、みんなで楽しく変身しました。何に変身するのか、楽しみです。

2年生「心うきうきハッピー」

「これをしていると楽しいなあ」「またやりたいなあ」と、心がうきうきすることをテーマに、クレヨンと絵の具で絵をかきました。2年生の作品、ウキウキしてきます。

3年生「にじんで広がる物語」

画用紙に水をつけたところに、絵の具を垂らすと色がにじんで広がります。色と形が広がっていくと…あ、いいこと思いついた！ 何を思いついたのか、楽しみです。

4年生「へんてこ星においたたら…」

宇宙にあるへんてこな星。何があるかな？だれが住んでいるかな？面白いしかけがあるかも？…楽しく想像してかきました。どんな「へんてこ」なのでしょう。

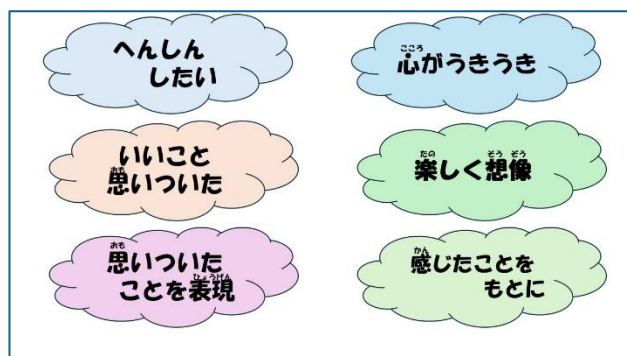
5年生「頂いた板からひらめいた」

板に絵の具で色を着けたり、材料を貼り付けたりして、思いついたことを表現しました。5年生の思いついた発想、どんなものができたのでしょうか。

6年生「見て・感じて・私らしさが生まれる」

芸術家の作品を見て、自分が感じたことをもとに、表したいことを絵にしました。感じたことをもとにした絵、というのは、どんなものなのでしょう。楽しみです。

ここまで、学年ごとに紹介しましたが、キーワードを集めてみました。



共通しているのは、思ったり、感じたり、想像したりと、展覧会の作品には、みんなの心が表れているということです。ですから、作品を見るときには、「うまいなあ」「絵が上手だなあ」ということではなく、その作品から自分の心が何を感じたか、また、そのことから、自分の心の世界がどのように広がっていくのか、ということを感じながら見ていきましょう。

展覧会は、今週の木曜日から始まります。みんなで、楽しみましょう。

